

令和元年第2回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
6月18日（火）	1	1	岩 本 利 雄 議員	1
	2	2	内 野 繁 樹 議員	2
	3	3	田 川 正 毅 議員	2
	4	4	淵 瀬 栄 子 議員	3
6月19日（水）	5	1	清 水 正 明 議員	5
	6	2	永 田 良 一 議員	7
	7	3	戸 浦 善 彦 議員	8
	8	4	杉 山 誠 治 議員	8
6月20日（木）	9	1	小 嶋 俊 樹 議員	9
	10	2	平 井 満 洋 議員	9

1. 岩 本 利 雄 議員

質問事項 1

人件費について

質問の要旨

- (1) 人口減少が進み、自主財源の確保が厳しくなっており、人件費をもっと抑えるべきだと考えている。今後の人件費について、市長はどのように考えているのかを伺う。
- (2) 過去 5 年間（平成 25 年度～平成 29 年度）職員の時間外勤務手当支給額実績（選挙執行及び災害復旧、災害警戒に係るものは除く）を見ると、平成 25 年度と平成 29 年度を比較した場合、約 14%（677 万 1,523 円）増加している。原因と対策について伺う。

質問事項 2

地場産業の支援について

質問の要旨

- (1) 本市には 3 つの大きな企業と数多くの中小企業があり、農業、水産業、林業のいわゆる一次産業と一緒にあって本市の経済を支えている。市長は、就任以来「地場産業の育成と地域力の強化」を政策の最重要課題としている。現在、地場産業に対してどのような支援をしているのかを伺う。
- (2) 中小企業における雇用の需要はあっても、人材確保に苦慮している。一次産業の後継者問題をはじめ、人材不足は今後大きな問題である。その対策の一つとして外国人の雇用があるが、外国人労働者の雇用及び就労に対する市長の見解を伺う。

質問事項 3

松島架橋について

質問の要旨

- (1) 松島架橋は、地域住民の悲願である。松島架橋については、市長選挙の時にも大々的に取り上げていたが、市長就任後、建設に向けてどのような進展があったのかを伺う。
- (2) 松島架橋早期建設期成会総会の折、「松島架橋建設基金」の創設を提案したら、検討する旨の答弁を受けた。検討結果を伺う。

2. 内 野 繁 樹 議員

質問事項 1

西海市地域医療の確保について

質問の要旨

- (1) 市長は、平成 31 年第 1 回定例会での施政方針において「総合的な医療供給体制の構築を図る。」と表明した。そのためには、医療政策班を中心として全庁的に取り組む必要があると考えるが、取組みの具体的内容と実施時期について伺う。
- (2) 西海市医療検討委員会の開催等実施状況を伺う。
- (3) 福医会との定期的な会合の経過を伺う。

質問事項 2

子どもの貧困について

質問の要旨

- (1) 平成 31 年 4 月 26 日付、長崎新聞に県が小・中学生の保護者を対象に実施した「子ども貧困率」に関する調査結果が公表され、11.2%とあった。本市の状況と対策等を伺う。
- (2) 平成 29 年 11 月 24 日付、長崎新聞に「生活保護 進学で貧困拍車」との記事があった。本市の生活保護受給世帯においても、生活困窮を理由に高校卒業後、大学などの進学を断念している者もいるのではないかと考えるが、その状況と市長の考えを伺う。

3. 田 川 正 毅 議員

質問事項 1

定住促進について

質問の要旨

- (1) 国立社会保障・人口問題研究所が平成 30 年に推計した日本の地域別将来推計人口によると、2045 年までの西海市の人口推計は平成 25 年 3 月時点の推計よりさらに減少しており、「西海市人口ビジョン」における市目標人口との乖離はますます大きくなっている。市目標人口の達成は非常に難しいのではないかと考えるが、市長の見解を伺う。

また、「西海市まち・ひと・しごと総合戦略」における各施策に加え、新たな人口減少対策が早急に必要と考えるが、市長の考えを伺う。

- (2) 市が定住促進のため宅地分譲している住宅団地の現状と今後の展望について伺う。
- (3) 緑ヶ丘団地宅地造成分譲事業について、定住人口増加のために無償も含め、破格の条件で宅地分譲する考えはないか伺う。
- (4) 市営住宅の老朽化や間取り等がニーズに合致しない、また、所得や同居等の入居条件が合わないなどの理由で、市外に住居を求めざるを得ない方が多いと聞く。現在の市営住宅の入居状況と、老朽化した市営住宅の建替え計画について伺う。また、独創的な市営住宅を建設する考えはないか伺う。

質問事項 2

市内小中学校統廃合後の空き校舎の利活用について

質問の要旨

- (1) 空き校舎の活用計画について、現状と課題、今後の展望について伺う。
- (2) 空き校舎・教室をアトリエとして画家・芸術家を目指す方に提供し、『芸術のまち西海』をつくる考えはないか伺う。

4. 湊 瀬 栄 子 議員

質問事項 1

子育て世帯の負担軽減について

質問の要旨

- (1) 「こども福祉医療費」助成の対象を、18 歳到達後の最初の 3 月 31 日までに拡充する考えはないか伺う。
- (2) 「こども福祉医療費」の助成方法を「乳幼児福祉医療費」と同様に現物給付にする考えはないか伺う。
- (3) 国民健康保険に加入する世帯の国民健康保険税の算定について、18 歳までの子どもに係る均等割額を減免する考えはないか伺う。

質問事項 2

公共交通の利便性の向上について

質問の要旨

- (1) この 4 月からスタートした新コミュニティ交通「さいかいスマイルワゴン」は、本市にとって新しい取組であり歓迎の声がある。その一方で、4 つの地区ごとに

運行されているため、「西海町のAコープセツ釜店が閉店し不便になったので、大瀬戸町のAコープ多以良店に買い物に行きたい」など隣接する地区への運行を要望する声が寄せられている。店舗や病院などの位置を考慮し、隣接する地区の重なりを認めるエリアの見直しができないか伺う。

- (2) 小・中学校の統合により児童・生徒の通学のためのスクールバスが運行されている。

学校長から提出された利用計画において運行予定のない日の活用やスクールバスを混乗型のコミュニティバスとして活用するなど検討してみてはどうかと思うが、いかがお考えか。

質問事項 3

大瀬戸コミュニティセンターの環境改善について

質問の要旨

本市の第2次西海市総合計画において、公民館活動の活性化や障がいがあっても社会参加しやすい環境をつくるため、公共施設における設備の充実と普及を図ると定めている。

瀬戸地区公民館が設置されている大瀬戸コミュニティセンターを活用する団体や個人から、トイレの環境について「狭い」「暗い」「使いにくい」などの声が寄せられている。改善の必要があると思うが、いかがお考えか。

質問事項 4

再生可能エネルギー活用による産業振興と自然環境保全について

質問の要旨

- (1) 本市の第2次西海市総合計画において、再生エネルギーを活用した民間企業による発電事業等の実施を地域振興に繋げるとともに、無秩序な開発を防止し、市民生活、地域経済活動及び自然環境等への悪影響を回避する必要があると定めている。

これを具体的に進めていくためには、本市においても他の自治体が制定している「自然環境等と再生エネルギー発電設備設置事業との調和を図る条例」等の条例制定が必要であると思うが、いかがお考えか。

- (2) 会派で視察調査した下関市では、計画のある洋上風力発電事業の環境影響評価準備書について県知事に市長意見を回答する際に、市長は下関市環境審議会に諮問し答申を受けている。

洋上風力発電事業が計画されている本市の場合の対応について伺う。

- (3) 西海市公害防止条例に基づく公害対策審議会は、審議会委員不在の状態になっているが、そのあり方について伺う。

質問事項 5

国民健康保険税と滞納問題について

質問の要旨

- (1) 本市の国民健康保険税は、年収 400 万円 4 人世帯（30 代夫婦子 2 人）のモデル世帯ではいくらになるか。また、全国健康保険協会（協会けんぽ）の健康保険料と比べてどうか。
- (2) 平成 28 年 4 月に債権管理課を設置したことで、平成 27 年度と平成 29 年度の本市の国民健康保険税の滞納と差押の状況はどのように変化したのか。
- (3) 国民健康保険税を滞納している生活困窮者の把握と対策はどのようになっているか。
- (4) 2018 年 11 月に日本共産党が発表した国民健康保険政策では、1 兆円の公費投入により「均等割」と「平等割」を廃止し、高すぎる国民健康保険税を協会けんぽ並に引き下げることがを提案している。

そこで、平成 30 年度の保険税率で年収 400 万円 4 人世帯（30 代夫婦子 2 人）のモデル世帯で仮に公費 1 兆円を投入した場合の試算はどのようになるか。

5. 清 水 正 明 議員

質問事項 1

良質な住環境の整備について

質問の要旨

- (1) 「広報さいかい 5 月号」によると、市営住宅等の空き住宅への入居募集が 173 戸となっている。今後、その解消に向けどのように対処していくのか、その方針を伺う。

また、西海市公営住宅等長寿命化計画が策定されているが、その中で市営住宅等の空き住宅について、どのような位置付けとなっているか伺う。

- (2) 緑ヶ丘団地宅地造成分譲事業は、旧大瀬戸町が造成し民間企業に分譲した土地を市が購入し、再び造成して分譲する事業と思われる。このことは、公共事業費の二重投資と考えるが、市長の見解を伺う。

また、平成 31 年度当初予算の概要に「土地建物を購入し」と明示されている。公共事業の用地取得においては、更地買収が基本と考えるが、建物を購入する理由を伺う。

- (3) 昨年度の定住促進住宅建設事業において、西海町丹納郷の旧親和銀行西海支店の土地建物とも購入していると思われる。公共事業の用地取得においては、更地買収が基本と考えるが、建物を購入した理由及び現在の所有権者を伺う。

また、今年度は住宅 2 棟の改修となっているが、予算的に見て、解体し新設の方が経済的と考えるが、市長の見解を伺う。

なお、改修する場合、築年数が長くなり単独住宅としての住宅使用料が安くなると考えられ、民間住宅事業者へ影響が大きいと思われるが、市長の見解を伺う。

質問事項 2

道路行政について

質問の要旨

- (1) 国道 202 号線の川内～小迎間の道路改良工事が長期に亘って中断しているが、市として県へ早期に再開するよう働きかけているのか伺う。

また、川内波止場前の交差点は、道路の構造に課題があり、そのため嵩上げ計画等がなされていると聞いているが、市として県へ事業実施に向けての取組みがなされているのか伺う。

- (2) 朝夕の川内波止場前交差点、小迎交差点の混雑の一因は、米海軍兵士及び軍属の通勤車の増加も考えられるが、横瀬貯油所への L C A C 基地開設時は米軍兵士の通勤は船舶によって行われるものと認識していたが、現況との違いについて市当局としてどのように考えているのか伺う。

- (3) 西彼町八木原郷皆割石の市道においては、埋設管敷設後の復旧舗装が陥没し危険な状態にあるが、市道管理者として早急に対応する必要があるのではないのか見解を伺う。

質問事項 3

肥前大島港馬込地区周辺事業の埋立について

質問の要旨

- (1) 本年第 1 回市議会定例会において、埋立変更認可の取得状況を質問したが、「今、手続きをやっているところ」との答弁であった。その後の進捗を伺う。
- (2) 護岸、岸壁工事に当たっては、地盤が軟弱と聞いているが、埋立て部分の地質

調査がなされているか伺う。

- (3) 埋立土は、約 184 万立方メートルで、その大部分は公共工事の残土と聞いているが、どこの公共工事からの土を予定しているのか伺う。

6. 永 田 良 一 議員

質問事項 1

農業基盤整備事業について

質問の要旨

白崎地区基盤整備事業において、昨年度 1 期工事として約 7.6 ヘクタールの樹園地が完成し、みかん苗木（3 年生）約 6,000 本の植栽を終えた。今年度は第 2 期工事として約 7 ヘクタールの整備が予定されている。そこで、次のことについて伺う。

- (1) 1 期工事完成後、従前になかった法面が大きく発生している。この法面は耕作地としては使用できないが、固定資産税の課税は今後どうなるのか。
- (2) 今後、大雨等により、法面崩壊等の災害が発生し、農地等災害復旧事業へ取り組むこととなった場合、個人負担金が生じると考えるが、地権者と耕作者のどちらに負担金がかかることになるのか。
- (3) 基盤整備に市道が通っているが、市道と個人所有地との境界はどこに設定される見込みなのか伺う。
- (4) 1 期工事の整備事業の中で、土地改良区、担い手、地権者との協議がなされ、事業推進に至っているが、事業区域の周辺住民への説明はどのようにして、何回開催されたのか。
- (5) 本事業では、基盤整備区域から排水される雨水等の処理が課題の一つであると考ええる。個別の苦情、不安等に対する問題は残っていないか。
- (6) 完成した圃場は、法面が高い。既に植栽は済んでいるが、防風対策はどのようなになっているか。
- (7) 今年度より着工予定の 2 期工事においては、約 5,000 立方メートルの残土が発生すると聞いている。地域農家から、この残土をハウスや水田圃場への客土等に、有効利用できないかとの意見を多く聞く。市の考えは。

質問事項 2

防災対策について

質問の要旨

梅雨時期に入り、市の対策について伺う。

- (1) 昨年の風水害による被災件数を伺う。また、そのうち市の補助対象となり、復旧した件数はいくらか伺う。
- (2) 風水害により被災したが、市の補助対象に該当しなかった件数を伺う。
- (3) 自主防災組織と市の関わり方について伺う。

7. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

郷土を想うまちづくりについて

質問の要旨

住み続けたい郷土である西海市と、子ども達の未来に想いをつなげるため、今、市長がすべきと考える次のことについて伺う。

- (1) 市の人口減と向き合う時、市長が考え、描く「まちづくり」について伺う。
- (2) 市の人口減と向き合う時、教育長が考え、描く「学校づくり」について伺う。
- (3) 西海市の目指す「観光づくり」について伺う。

8. 杉 山 誠 治 議員

質問事項 1

本市における初期救急医療について

質問の要旨

本市における初期救急医療体制について、特に、夜間・休日等の病院の受入れと救急搬送の現状と課題を伺う。

質問事項 2

公衆トイレの整備について

質問の要旨

公衆用トイレの洋式・水洗化をはじめ、全般的な改善状況と身障者用等、多目的トイレの整備状況を伺う。

質問事項 3

市道の補修について

質問の要旨

市道の補修について、行政区から要望書を出しても利用者が少ないなどの理由から補修されず、改善されていない箇所があると聞く。市民の安全・安心を確保するためにも修繕を急ぐべきと考えるが、市長の考えを伺う。

9. 小 嶋 俊 樹 議員

質問事項 1

自治会等の活動について

質問の要旨

全国的に持続可能な自治会や町内会活動が課題になっているが、本市においても人口減少や高齢化などで自治会や各種団体の人材確保が困難になりつつある。

この問題は、行政はもとより、小さな共同体の文化的持続にも大きな影を落とす結果となりかねない。市においても今後、調査研究する必要があると考えるが、次の点について伺う。

- (1) 自治会の合併・再編が必要と考えるが、市としてどのような見解を持たれているのか。
- (2) 消防団や老人会等の各種団体の運営状況を十分把握しているのか。
- (3) 各種団体における人材確保が困難になってきている状況への対策は、協議されているのか。

10. 平 井 満 洋 議員

質問事項 1

大島地区工業団地整備事業について

質問の要旨

- (1) 敷地造成工事の計画は当初の予定どおり進んでいるのか伺う。また、工事を進める中で、問題等が生じていないか伺う。
- (2) 今後も当初の計画どおり、工事は順調に進んでいくと見込んでいるか伺う。

質問事項 2

長崎オランダ村について

質問の要旨

- (1) 現在の運営状況及び今後の運営について、どのような話し合いがなされているのか伺う。
- (2) 5月28日付の長崎新聞に、長崎オランダ村で県立西彼農業高校の生徒が花の植栽を行ったという記事が掲載されていたが、記事中、長崎オランダ村について「市民交流型観光施設」と表記されていた。「市民交流型観光施設」としての長崎オランダ村と西海市は、どのように関わっているのか伺う。

質問事項 3

市道の維持・管理について

質問の要旨

- (1) どのような維持・管理が行われているのか伺う。
- (2) 大雨が降れば冠水するような道や側溝蓋さえあればより安全に通行できる道があるが、把握されているのか伺う。

質問事項 4

職員の給与体系について

質問の要旨

西海市のみならず、どの自治体も職員の人件費を確保した上で、予算編成を行っている認識しているが、もう一つの考え方として、市民サービスのための予算を優先して確保した上で人件費分を算定するべきではないかと考える。ついては、市民サービスのための予算を確保するため、職員の給与体系を見直し、人件費を現状より縮減する必要があると考えるが、市長の考えを伺う。

質問事項 5

市長の市政に対する考え方について

質問の要旨

市長に就任してからの2年間を総括し、前市政との政策の違いと、今後2年間の市政に対する考え方を伺う。

質問事項 6

第 3 次西海市食育推進計画について

質問の要旨

西海市民にどの程度認知されているか。また、認知度を上げるため、どのような周知を図っているのか伺う。